

大阪府市スポーツ施策の現状と課題

平成28年 4 月27日

大阪府府民文化部都市魅力創造局文化・スポーツ課
大阪市経済戦略局スポーツ部スポーツ課

目次

1 大阪府スポーツ推進計画策定までの経過	1
大阪府生涯スポーツ社会づくりプラン	1
スポーツ基本法、スポーツ推進計画、大阪府スポーツ推進計画	2
2 大阪府スポーツ施策の現状(大阪府スポーツ推進計画の概要)	3
3 現大阪府スポーツ推進計画の課題(全般)	4
課題(「大阪府スポーツ推進計画」における目標指標)	5
課題(スポーツ実施率が低い)	6
課題(運動・スポーツの非実施理由)	7
課題(府内で開催した夏季オリ・パラ競技関連の主な国際的な大会<過去10年>)	8
4 大阪市のスポーツをめぐる現状、主な課題	9
4-1 大阪市のスポーツ事業について	10
5 スポーツを取り巻く国や府の現状	11

1 大阪府スポーツ推進計画策定までの経過

◆大阪府生涯スポーツ社会づくりプラン(H8.1～H22.12)

(概要)

- ・平成8年1月に「大阪府生涯スポーツ社会づくりプラン」を策定し、平成22年末の目標達成に向け施策を推進
(現大阪府スポーツ推進計画の前進プラン)
- ・大阪府として取り組むべき具体的施策として、「7つの柱」を示し、スポーツ関連行政組織、生涯スポーツ振興の役割を担うスポーツ団体等と連携し、「現行施策」及び「今後検討すべき施策」に分けて施策を推進し、間近に迫った「なみはや国体」・「ふれ愛びっく大阪」の成功と、平成22年(2010年)を目標年次として「生涯スポーツ社会」の実現を目指すこととした。

【7つの柱】

- ①スポーツ施設の整備、②スポーツ指導者の養成、③スポーツ関係団体の育成、④スポーツイベント等関連事業の推進、⑤スポーツ情報提供事業の推進、⑥スポーツの国際交流の充実、⑦スポーツの安全対策の推進

(プランの検証結果)

○ライフステージに応じたスポーツ機会の創造

子どもの体力向上、少子・高齢社会における健康増進を促進するため、府は生涯スポーツ振興の拠点である大阪府広域スポーツセンターを一層活用し、府内に51団体設立された「総合型地域スポーツクラブ」が、会費や寄付により安定的かつ継続的に運営が可能なNPO法人型のコミュニティスポーツクラブとして自立できるよう支援する必要。

府は府民のだれもがそれぞれの体力や年齢、興味、関心に応じてスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツ機会の増大を図るため、スポーツ関係団体等がより一層相互にネットワークを構築できるようマネジメントすることが必要。

○スポーツの活力を生かした都市魅力の創造

オリンピック競技大会や各スポーツ競技の世界選手権大会等での日本人選手の活躍は、多くの人々に大きな夢や感動を与えてくれた。府民がこのようなトップアスリートの優れた技と魅力に触れることや素晴らしい競技を観戦することは、子どもを含む多くの人々にスポーツへの参加意欲を高めるとともに、将来的には学校、地域からトップアスリートが発掘されることにもつながることが期待できる。

平成23年10月に3万人のランナーが名所を駆け巡り、応援する府民が沿道を埋め尽くすなど、大阪の「祭り」として『第1回大阪マラソン』が開催され、来年3月には大規模サイクリイベントも開催される予定である。今後、このような大規模スポーツイベントを単にスポーツイベントとして捉えるのではなく、大阪の都市魅力創造のコンテンツとして強く国内外に情報発信し、その振興を図ることが必要。

※今後、大阪における生涯スポーツの振興をより一層図るため『大阪府生涯スポーツ社会づくりプラン』の検証から得た課題を踏まえ、スポーツを取り巻く様々な環境の変化、国のスポーツ施策等を考慮した、新しいプランの策定が必要。

◆スポーツ基本法(H23.8～)

- ・国においては、平成23年8月に50年振りに、スポーツ振興法が全面改訂され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であることや「障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、推進されなければならない。」とする「スポーツ基本法」が制定

◆スポーツ基本計画(H24.4～H35.3 10か年計画)

- ・スポーツ基本法におけるスポーツの果たす役割を踏まえ、目指すべき具体的な社会の姿を提示。地方公共団体が「地方スポーツ推進計画」を定めるための指針となるよう、国と地方公共団体が果たすべき役割に留意して策定
- ・計画の期間については、10年間程度を見通した計画としつつ、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策を体系化(平成28年度改定予定)

◆大阪府スポーツ推進計画(H24.4～H29.3 5か年計画)

- ・このような状況を踏まえ、これまでの『大阪府スポーツ社会づくりプラン』に基づいた取り組みの成果を活かし、また新たな課題に対応し、今後の大阪の生涯スポーツの振興をより一層進めるため、「大阪府スポーツ推進計画」を策定
- ・平成28年度改定予定の「スポーツ基本計画」を参酌し、平成29年度中に府の推進計画を改定予定

2 大阪府スポーツ施策の現状（大阪府スポーツ推進計画の概要）

～大阪スポーツ王国の創造～

- ◆だれもが「する」「みる」「ささえる」スポーツに参加できる大阪を目指す
- ◆スポーツを通じて健康で明るく活力に満ちた大阪を目指す
- ◆スポーツを通じて都市の魅力を創造し、発信する大阪を目指す

2本の柱

1 ライステージに応じたスポーツ機会の創造

- ◆市町村、スポーツ関係団体、障がい者スポーツ団体、大学、企業等とより一層連携を深めたネットワークを構築し、府民のだれもがそれぞれの体力や年齢、興味・関心に応じてスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会を実現

2 スポーツの活力を生かした都市魅力の創造

- ◆トップアスリートのパフォーマンスや大規模スポーツイベントを大阪の都市魅力創造の重要なコンテンツとして捉え、強く国内外に発信

主な施策の展開（現状）

- 地域スポーツクラブの活性化
 - ・総合型クラブ活動促進事業
- 学校における体育・運動部活動の充実及び学校体育と地域スポーツとの連携
- 働く世代におけるスポーツ機会の充実
 - ・総合型クラブ活動促進事業（再掲）
 - ・府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル
 - ・スポーツ情報ネットワークシステム推進事業
- 健康増進・生きがいのスポーツ推進
 - ・府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル（再掲）
 - ・スポーツ啓発事業
- スポーツを「ささえる」人材の養成
 - ・スポーツボランティア養成及び派遣事業
- 「いつでも」「どこでも」「気軽に」スポーツに取り組める障がい者スポーツの推進

- トップアスリート等が府民とふれあう機会の充実
 - ・プロスポーツチームとの連携事業
 - ・キッズスポーツフェスティバル開催事業
 - ・トップアスリート小学校ふれあい事業
 - ・観戦優待事業
- トップアスリートを目指すジュニア選手や競技選手の養成
 - ・知事賞詞（感動大阪大賞）
- 大規模スポーツイベントの開催
 - ・大阪マラソン開催事業
 - ・ラグビーワールドカップ2019開催準備
 - ・関西ワールドマスターズゲームズ2021開催に向けた取り組み
- 国際大会、全国大会の招致
 - ・東京オリ・パラ等キャンプ誘致等事業
- 民間の力を活かした生涯スポーツの推進
 - ・プロスポーツチームとの連携事業（再掲）、・キッズスポーツフェスティバル開催事業（再掲）
 - ・トップアスリート小学校ふれあい事業（再掲）、観戦優待事業（再掲）
- 競技スポーツとしての障がい者スポーツの振興